

【DTS】米国 CIS Benchmarks 準拠の AWS クラウドセキュリティ対策を提供開始

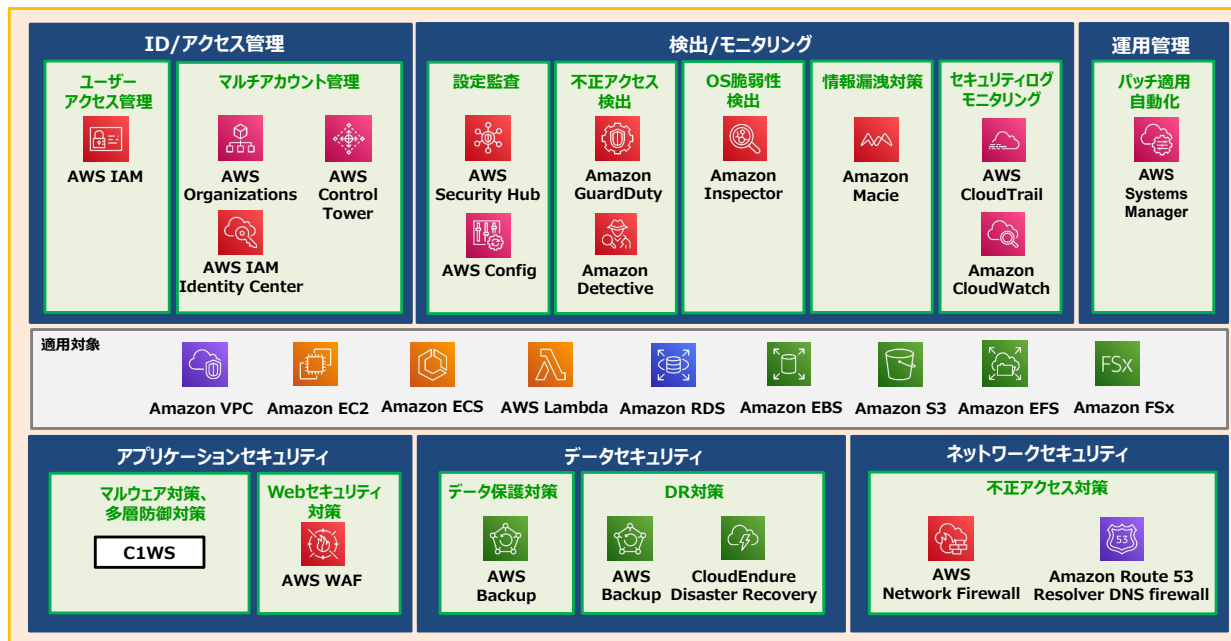
サイバー攻撃に不安を抱えているお客さまに向けて導入・運用を支援

株式会社DTS(東京都中央区、代表取締役社長 北村 友朗)は、アマゾンウェブサービス(以下: AWS)のセキュリティを強化する「AWS セキュリティマネージドサービス」を、10月18日から提供開始します。

AWS セキュリティマネージドサービスは、AWS のベストプラクティスや、米国のインターネット・セキュリティ標準化団体「CIS(Center for Internet Security)」が策定した CIS Benchmarks 等のセキュリティガイドラインに準拠した、AWS セキュリティ対策の導入・運用を実現するサービスです。クラウドのセキュリティ対策について「何をどこまでやるべきかわからない」、「導入後の運用ができない」といった課題を解決し、安心して AWS をご利用いただくための環境を構築し、その後の運用をサポートします。AWS 標準のセキュリティ機能を中心にテンプレート化しており、ID/アクセス管理、アプリケーションセキュリティ、ネットワークセキュリティをはじめとした AWS でニーズの高いセキュリティ対策を 6 つのカテゴリー、13種類のメニューとして提供します。提供する13種類のメニューは、お客さまの要件にあわせてカスタマイズすることが可能です。

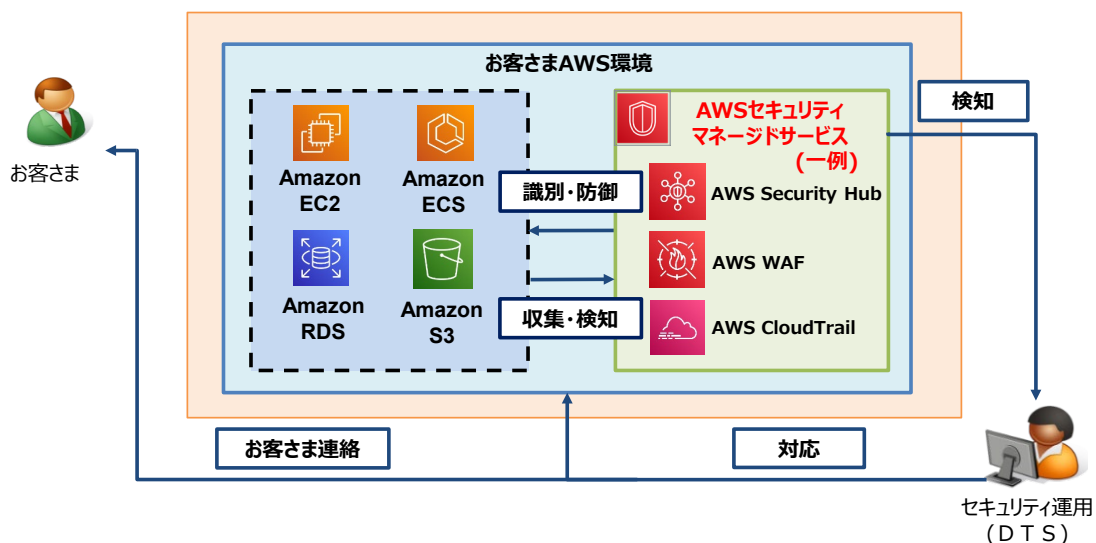
今後もDTSは、市場ニーズの高いセキュリティ対策を AWS 関連サービスとして順次提供していく予定です。

AWS セキュリティマネージドサービス の 6 つのカテゴリーと 13 種類のメニュー



図内の青枠がカテゴリー、緑の枠がメニュー

AWS セキュリティマネージドサービスの利用イメージ



【クラウド環境に対するサイバー攻撃の増加でセキュリティ対策は急務】

コロナ禍によるリモートワークの増加やデジタルトランスフォーメーションの推進により、クラウドの利用は年々増加しており、それに伴う形でクラウド環境に向けたサイバー攻撃も大幅に増加している状況です。総務省のサイバーセキュリティタスクフォースによる報告によれば、国内では、2021 年下半期のランサムウェア被害の報告件数は、2020 年下半期に比べて約4倍、2022 年 7 月のフィッシング報告件数は、2021 年 7 月に比べて約 3 倍に増加しており、大規模サイバー攻撃観測網である NICTER において観測されたサイバー攻撃関連の通信数も引き続き増加傾向(各 IP アドレスに約 18 秒に 1 回の通信)にあります。また、2021 年 12 月には Apache Log4j の脆弱性を狙う攻撃が大量に観測されたほか、2022 年 2 月には、マルウェア Emotet の感染再拡大も発生しています^{※1}。そのため、クラウドサービスを利用する企業にとって、セキュリティ対策は急務となっています。しかしながら、企業のご担当者様にとって、「クラウドのセキュリティとして何をどこまでやればよいかわからない」、「やるべきセキュリティ対策が何か理解はしているが技術的な知見がなく対応を進められない」、「クラウドセキュリティ対策導入後の運用に不安がある」等の課題を抱え、十分なクラウドセキュリティ対策を行っていないのが実情です。

DTSでは、こうしたクラウドセキュリティに対する課題を解消し、クラウド環境を安心してご利用いただけるよう、「AWS セキュリティマネージドサービス」の提供を開始します。テンプレート化したサービスでAWSセキュリティ対策の導入・運用が行えます。また、AWSのベストプラクティスや国際的なセキュリティガイドラインに準拠しています。

※1 「総務省 サイバーセキュリティタスクフォース 『ICT サイバーセキュリティ総合対策 2022』 2022 年 8 月」より

【AWS セキュリティマネージドサービスの概要】

■AWS Well-Architected FrameWork、CIS AWS Foundations Benchmark に準拠

AWS セキュリティマネージドサービスは、「AWS Well-Architected FrameWork」^{※2} や、米国のインターネット・セキュリティ標準化団体である CIS が策定した CIS Benchmarks の「CIS AWS Foundations Benchmark」^{※3} に準拠したサービスとなっており、AWS の推奨構成および推奨設定に則した、AWS セキュリティ対策を導入します。

導入後のセキュリティ運用にも対応しているため、「クラウドセキュリティ対策導入後の運用に不安がある」お客さまにも安心してご利用いただけるサービスです。

※2 AWS 環境上でワークロードを設計および実行するための主要な概念、設計原則、アーキテクチャのベストプラクティスについてまとめたもの。

※3 組織内で必須で行うべきサイバー攻撃への対策をまとめた「CIS Controls」をもとに、AWS のベストプラクティスとしてまとめられたもの。世界的に認められたセキュリティ基準となっている。

■AWS 標準のセキュリティ機能を組み合わせた AWS でニーズの高いセキュリティ対策をメニュー化

AWS セキュリティマネージドサービスは、AWS 標準のセキュリティ機能を中心にテンプレート化したサービスです。AWS でニーズの高いセキュリティ対策を 6 つのカテゴリ、13 種類のメニュー化することで、簡単に導入対象を選択することができます。

なお、AWS セキュリティマネージドサービスは、テンプレートでの提供だけではなく、お客さまの個別の要件にあわせてカスタマイズすることも可能です。

表 1. AWS セキュリティマネージドサービス メニュー 一覧

カテゴリ	メニュー名	概要
ID/アクセス管理	ユーザーアクセス管理	ユーザーアカウントの乗っ取りや誤操作による情報資産の喪失、流失を防止できるよう、利用するアカウントを保護します。
	マルチアカウント管理	セキュリティポリシーの不整合、利用するアカウントの乗っ取り、誤操作による情報資産の喪失、流出を防止できるよう、利用する複数のアカウントを保護します。
検出/ モニタリング	設定監査	AWS リソース設定変更後の違反の有無を可視化できるよう、モニタリングします。
	不正アクセス検出	AWS リソース内の悪意のあるアクティビティを可視化できるよう、AWS アカウントとワークロードをモニタリングします。
	OS 脆弱性検出	EC2 インスタンスやコンテナ等の AWS ワークロードに対する、ソフトウェアの脆弱性や設定の不備を検出し、サイバー攻撃に備えます。
	情報漏洩対策	S3 にアップロードしたデータ内の機密情報を検出し、機密情報の漏洩を防ぎます。
	セキュリティログ モニタリング	AWS 環境上の操作を記録し、システム監査に備えます。
運用管理	パッチ適用自動化	パッチ適用を自動化し、運用負荷を軽減します。
アプリケーション セキュリティ	マルウェア対策、 多層防御対策	お客さまのサーバ環境をしっかりと保護し、情報資産の漏洩や改ざんに対応します。
	Web セキュリティ対策	Web アプリケーションの脆弱性を狙った攻撃から、お客さまシステムを保護します。
データ セキュリティ	データ保護対策	障害等でシステムやデータに問題が発生した際の迅速な復旧対応を可能とします。
	DR 対策	災害発生時やランサムウェア攻撃発生時等の迅速な復旧対応を可能とします。

ネットワーク セキュリティ	不正アクセス対策	外部からの不正なアクセスを遮断し、お客さまシステムを保護します。
------------------	----------	----------------------------------

■AWS セキュリティマネージドサービスとの連携が可能な関連サービスも併せて提供

「マルチクラウド接続サービス」、「総合サーバーセキュリティサービス」、「セキュリティ診断サービス」、「アカウントセキュリティサービス」、「特権 ID 管理サービス」の 5 つを関連サービスとして提供します。

今後も、市場ニーズの高いセキュリティ対策を関連サービスとして順次提供していく予定です。

表 2. 関連サービス 一覧

サービス名	概要
マルチクラウド接続サービス	お客さま拠点とクラウド環境を閉域でセキュアに接続し、通信の盗聴や第三者の侵入を防ぎます。
総合サーバーセキュリティサービス	お客さまのサーバ環境をしっかり保護し、情報資産の漏洩や改ざんに対応します。
セキュリティ診断サービス	サイバー攻撃の対象になりうる箇所を特定し、サイバー攻撃に備えます。
アカウントセキュリティサービス	お客さま環境のアカウントを統合管理し、利用するアカウントを保護しつつ、運用負荷の軽減やシステム利用時の利便性を向上します。
特権 ID 管理サービス	特権 ID の管理を行うことで、特権IDによるサイバー攻撃や内部不正を未然に防ぎ、問題発生時にも迅速に確認ができるようにします。

【AWS セキュリティ導入・運用サービスの今後の展望】

DTSでは今後、システム全体の設定監査を行えるサービス(CSPM ^{※4})、コンテナ環境のセキュリティ対策が行えるサービス(CWPP ^{※5})、セキュリティ運用を強化するサービス(SIEM ^{※6}、SOC ^{※7})を順次ご提供する予定です。

また、金融分野などで要求される高いセキュリティ対策にも対応します。金融、証券系の企業で準拠が求められる FISC 安全対策基準^{※8}、クレジットカード取扱企業で準拠が求められる PCIDSS^{※9}に対応したサービスについても順次提供していきます。

※4 Cloud Security Posture Management の略で、クラウドセキュリティの構成ミス、管理不備などへ対応するための仕組みを提供します。

※5 Cloud Workload Protection Platform の略で、コンテナ環境やサーバレス環境のワークロードを保護します。

※6 Security Information and Event Management の略で、ログの統合管理や相関分析を行うための仕組みを提供します。

※7 Security Operation Center の略で、対象システムの監視・分析を行いサイバー攻撃の検出・通知を行います。

※8 金融情報システムを構築する際の安全対策の共通の指針となることを目的に策定されたもの。

※9 クレジットカード情報および取引情報を保護するために策定した、クレジット業界におけるグローバルセキュリティ基準。

【販売開始日】 2022 年 10 月 18 日

【価 格】 お客さまのシステム環境により異なるため、下記DTS問い合わせ窓口までご連絡ください。

【AWS セキュリティマネージドサービスについて】 https://www.resm.jp/service/aws_security/

【株式会社DTSについて】

DTSはコンサルティングから設計、開発、基盤構築、運用などの情報システムの構築に加え、ソリューション提供型のビジネスの展開やビジネスプロセスアウトソーシング（BPO）などを通じて、お客さまに付加価値を提供しています。

基盤構築・運用では40年以上の経験とノウハウで、高品質な運用体制を迅速に構築し、システム運用に関わる全ての領域をサポート。また、独立系の強みを活かし、お客さまのニーズに合わせ、オンプレミス、クラウドサーバーから仮想化システムまで幅広く運用設計・構築・運用監視サービスを提供しています。

2020 年 AWS アドバンスティアサービスパートナー認定。

<https://www.dts.co.jp/>

本社所在地：〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-23-1 エンパイヤビル

<お客さまからのお問い合わせ先>

株式会社DTS デジタルソリューション営業部 クラウドセールス担当 高橋、天野

TEL: 03-5615-5920 E-mail: dsol@dts.co.jp

<報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社DTS 広報部 熊田、新貝

TEL: 03-6914-5463 E-mail: press@dts.co.jp

※AWS、アマゾンウェブサービスの商標は、Amazon.com, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

